

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立科学館	所管課	社会教育課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月20日
管理方式	指定管理者((財)山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立科学館設置及び管理条例		
設置目的	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、もって教育及び文化の発展に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	展示室、多目的ホール、あそびのへや、実験・工作室、ミュージアムショップ、レストラン、スペースシアター、天体観測室、展望テラス		
主な業務内容	常設展示の運営 企画展・特別企画展の実施 科学実験・工作事業 天文事業 あそびの部屋関連事業 各種作品展実施		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	入館者	145,196	134,602	138,547	
	うちスペースシアター観覧者	46,436	43,844	36,758	
	うち主催事業参加者	71,851	64,158	70,269	
	うち学習利用者	16,627	16,339	18,428	
	利用者数合計	145,196	134,602	138,547	
	目標値	141,400	141,400	145,200	145,500
	目標値設定の考え方	4月～8月は、平成18年度実績の5～10%増。9～3月は例年並み。	平成18年度と同等の利用者数を目標とする。	好調であった平成19年度と同等の利用者数を目標とする。	平成21年度実績の5%増
対19年度比	100.0%	92.7%	95.4%	100.2%	
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	37,289,000	41,013,000	39,547,000	41,013,000
	指定管理者委託料	346,533,000	349,922,000	349,922,000	349,025,000
	その他	7,103,000	5,139,000	6,943,000	5,526,000
	収入合計(A)	390,925,000	396,074,000	396,412,000	395,564,000
支出	人件費	122,444,000	116,664,000	129,373,000	116,305,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	152,067,000	169,562,000	155,804,000	168,651,000
	(うち外部委託費)(B)	104,080,000	98,103,000	98,004,000	96,544,000
	支出合計(C)	274,511,000	286,226,000	285,177,000	284,956,000
収支差額(A-C)		116,414,000	109,848,000	111,235,000	110,608,000
外部委託比率(B÷C)		37.9%	34.3%	34.4%	33.9%
利用者一人当りの経費		2,575	2,410	2,526	2,399

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月(四半期ごとに実施) 実施方法:来館者へのアンケート、回答数:2,330人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間				
②利用料金	68.0%	28.0%	4.0%	0.0%
③申し込み方法				
④設備・備品の状況				
⑤催物・事業内容				
⑥職員の接客態度	90.0%	8.0%	1.0%	1.0%
各項目の平均	79.0%	18.0%	2.5%	0.5%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 雨天時に昼食をとる場所が少ない。 レストランのメニューが少ない。 プラネタリウム及びドーム映像の番組数を増やしてほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> 大型テントをウッドデッキスペースに設営するなどし、要望に対応している。 特別企画展時に特別メニューを提供している。 プラネタリウム及びドーム映像の制作及び選定に考慮している。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書確認及び現地調査の結果、適正に実施されていることを確認した。 引き続き業務計画書等に沿った適正な業務執行に努めること。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。 実施した事業は概ね好評であった。	事業報告書確認及び現地調査の結果、適正に実施されていることを確認した。 今後も魅力ある事業の実施及びサービス向上に努めること。
自主事業	-	-
利用状況	入館者は対前年比増となった。 リニューアル準備中、スペースシアターを休館した影響で、シアター観覧者の減少が見られるが、一時的なものだと考える。 学習利用は目標値を上回る実績を上げた。	一層の利用者増加が図られるよう、積極的な広報活動に努めること。
収支状況	人件費については、新たに賞与引当金の科目を新設するよう公認会計士からの指導があったことと、退職引当金が増加したことにより増加したが、物件費については、燃料費、光熱水費など節約や単価が下がったため減少した。	可能な限り経費節減に努めている。 今後とも、適正な収支バランスを保つよう努めること。
利用者満足度	早急に対応できる利用者意見については、対応を行った。今後とも利用者の声を重視し、より一層のサービス向上に努めていく。	四半期毎に集計される利用者満足度調査の結果を踏まえ、利用者の声を管理運営に反映させるようその都度指導した。 運営上の工夫で解決可能な利用者意見については速やかな対応がなされた。
運営目標の達成状況	運営目標4項目のうち、1項目は目標値を上回った。スペースシアター観覧者数については、リニューアル工事のため2ヶ月半投影を休止していたため、目標値と実績値が乖離したが、その他2つの目標値については、概ね目標を達成した。 ①入館者数 目標値145,200人 実績値138,547人 ②スペースシアター観覧者数 目標値46,200人 実績値36,758人 ③主催事業参加者 目標値71,900人 実績値70,629人 ④学校利用回数 目標値16,900人 実績値18,428人	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務等について、条例、協定及び提案等に基づき概ね適正に履行するとともに、施設運営の経費削減に努めた。また、利用者アンケートを分析することにより、利用者のニーズを把握し、サービスの向上を目指した。 平成22年度は、広報により一層重点を置き、利用者増加に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	リニューアルの効果もあり、平成22年度の第一四半期の入館者数は、前年同期比121%と好調に推移している。 イベント等の広報については、様々な媒体を利用し、積極的に行っている。	

7. 管理体制(組織図)

